

第一章 いま企業と大学は、真の国際人を育てているか……………1

第一話	私が望むこと	2
第二話	アメリカをのぞく	5
第三話	企業は現状でよいのか	8
第四話	日本の「教育」と欧米の「エデュケーション」の違い	11
第五話	日本の学校と欧米の学校の比較	17
第六話	日本人は教育に汚染されている	20
第七話	コーヒー閑話	25
第八話	智慧を軽視し、知識を偏重する日本人への忠告	31
第九話	スペリー教授による大脳生理学のあらまし	44
第十話	大学への道と心に残る先生	47
第十一話	大学教授の研究態度について	50
第十二話	大学終論	53
第十三話	どうしたら「技術立国」の実をあげられるか	56

第二章	ブラックホール教授撲滅論……………	61
	まえがき——大学についての問題点……………	62
	欧米と日本の常識の違いを認識しよう……………	65
	日本人は教育に汚染されている……………	67
	外国人のみた日本の大学はブラックホール大学？……………	70
	大学らしい大学とは……………	71
	ブラックホール教授を撲滅できないか……………	74
	後継者の養成、入試その他……………	77
	むすび……………	79
第三章	業績乏しい大学教授の勤務評定を……………	81
第四章	酷評に反論なし（ヤン・テンマン）……………	87
第五章	いま問われる教育汚染と大学の實力……………	95
第六章	共通一次は廃止すべし……………	101

第七章 日本の将来と大学の使命……………107

はじめに 108

国家の興亡とその教訓 109

日本の将来——なぜ独創性が必要か—— 120

独創性からみた日本の現状 123

教育有害論——なぜ日本人に独創性が乏しいのか—— 132

独創力を増強する方策はないか 137

大学の使命 142

おわりに 147

第八章 独創的なひらめきには人間修養が不可欠……………151

藤原銀次郎の処世術 152

直観力が独創を生む 156

ひらめきの契機と宗教 160

科学者に必要な人間修業 164

付記 独創的人材を育てる「伯楽」出よ 167

第九章 大学・さつくばらん——知的謀叛のすすめ——……………171

第一話 アメリカの大学を訪問して……………174

第二話 ブラックホール大学……………175

第三話 学校の成績はどのようにして決められているか……………177

第四話 日本の学校と欧米の学校の比較……………179

第五話 大学で勉強する時の心構え……………180

第六話 実力をつける修・破・離の三段階……………182

むすび……………185

第十章 付言とまとめ……………187

一般論……………188

各学部に物申す……………192

付録 グアマン教授による世界の大学ランキング……………209

あとがき……………216

さくいん……………巻末

